

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	23	学校名	法隆寺国際高等学校
----	----	-----	-----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 歴史文化フォーラム (2) 学校設定科目「仏教美術」を通しての地域理解
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 歴史文化科3年生が、課題研究や専門科目の学習、総合的な探究の時間に取り組んだ成果を、広く地域住民や連携大学、協力諸機関に見ていただく機会とし、自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成を目指す。 (2) 歴史文化科2年生が学校設定科目「仏教美術」における実習授業として実施。地域の歴史や文化について実体験を通して学ぶ。
連携・協働相手	(1) 斑鳩町地域住民・斑鳩町地域振興課 (2) 明日香村地域住民
地域と共有している目標・課題等	地域創生、地域課題解決の視点育成、学校と地域住民との連携・協働機会の増加。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 本校歴史文化科3年生が自分たちで設定したテーマに基づき、郷土奈良・斑鳩をはじめとする地域を調査研究し、考察した内容について発表し、評価し合った。生徒は斑鳩町地域振興課をはじめとする町内・県内の関係者の協力を得て調査活動を行い、郷土の歴史と文化に関する理解を深め、その大切さについての自覚を深めた。 (2) 地域住民の歴史専門家に村内を案内していただき、遺跡や寺社を見学して、その歴史や文化について学んだ。また、観光視点での考察にも取り組んだ。この現地研修で自分たちが学んだことについてレポートを作成した。	

2. 事業の成果と課題

(1) 生徒は斑鳩町地域振興課をはじめとする町内・県内の関係者の協力を得て調査活動を行い、郷土の歴史と文化に関する理解を深め、その大切さについての自覚を深めた。今後、地域との連携を更に深める工夫が必要である。
(2) 仏教美術の学習に加えて、県内の歴史資産を観光に生かす視点での学習にも取り組んだ。今後も歴史学習とともに、観光資源としての生かし方の学習を、地域との連携により進めていきたい。

